

2025年度入学生 総合生活学科カリキュラムマップ

【総合生活学科のディプロマポリシー】											
総合生活学科は、全学共通のディプロマ・ポリシーに基づき、知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力、主体性・多様性・協働性が、次の基準に達している者に短期大学士（総合生活学）の学位を授与する。											
【知識・技能】											
・生活全般に関わる学科基礎科目について、基礎的な知識や技能を有している。											
・選択科目群の総合的で学際的な学びを通して、創造的に思考する技能を有している。											
【思考力・判断力・表現力等の能力】											
・客観的な情報の収集力、分析力、論理的な思考力、的確な判断力及び文章作成能力を有している。											
・現代社会の課題発見能力と課題解決能力及び実践力を有している。											
・社会に貢献できる豊かな表現力やコミュニケーション力を有している。											
・持続可能な社会のために、未来を切り開く創造力を有している。											
【主体性・多様性・協働性】											
・実現可能なキャリアプランに向かって資格取得に資する力を有している。											
・主体的に学修を深める力を有している。											
・多様なものの見方や考え方を尊重する姿勢を有している。											
・人々と協働・協調して学修を進める力を有している。											
【総合生活学科のカリキュラムポリシー】											
総合生活学科は、学生がディプロマ・ポリシーに定める基準に到達できるよう、次のように教育課程を編成する。											
【教育課程の編成】											
・学科基礎科目の必修科目として「総合生活論」「基礎ゼミ」「総合生活演習」、選択科目として「被服学」「食品学」「住居学」「情報社会論」「生活経営」「健康管理概論」「消費生活論」「家族関係」「被服構成基礎実習」「調理基礎実習」「住居デザイン基礎実習」「情報基礎演習」の生活全般に関わる基礎知識・基礎技術の習得を中心とする専門科目でカリキュラムを編成している。											
・学科の選択科目は7科目群で編成し、「服飾デザイン」「フードデザイン」「住居デザイン」「情報・ビジネス」「コミュニケーション」「心理」「キャリアデザイン」を自らのキャリアプランに応じて科目を選択し総合的に学べるよう体系的なカリキュラムを編成している。											
・各科目で身に付けた専門的知識・技能を基にして、応用力や実践力が身に付くよう、講義形式、演習形式、実験・実習形式など、科目の特性に応じた多様な方法で授業を行っている。											
・以下の資格が取得できる科目編成をしている。フードコーディネーター3級、秘書士、プレゼンテーション実務士、二級建築士・木造建築士（受験資格）											

分類	授業科目名	授業科目の到達目標	総合生活学科の学修成果 （◎＝達成のために、特に重要な事項　○＝達成のために、重要な事項）									
			1-1 生活全般に関わる学科基礎科目について、基礎的な知識や技能を有している。	1-2 選択科目群の総合的で学際的な学びを通して、創造的に思考する技能を有している。	2-1 客観的な情報の収集力、分析力、論理的な思考力、的確な判断力及び文章作成能力を有している。	2-2 現代社会の課題発見能力と課題解決能力及び実践力を有している。	2-3 社会に貢献できる豊かな表現力やコミュニケーション力を有している。	2-4 持続可能な社会のために、未来を切り開く創造力を有している。	3-1 実現可能なキャリアプランに向かって資格取得に資する力を有している。	3-2 主体的に学修を深める力を有している。	3-3 多様なものの見方や考え方を尊重する姿勢を有している。	3-4 人々と協働・協調して学修を進める力を有している。
学科基礎科目	総合生活論	①「総合生活論」の理解を深めることができる ②図書館が利用できるようになり情報の取捨選択ができる ③目標達成のためのキャリアプランを描くことができる ④生活全般に関わる諸問題の基本が解決できるようになる ⑤ 総合生活学科の各科目の学び方が理解できる	◎			○						
	基礎ゼミ	①多様な演習授業をとおして様々な分野への理解を深めることができるようになる ②興味のある専門分野を選択する手がかりを得ることができる	◎			○				○	○	
	総合生活演習 （担当：桂山 康司）	①文化研究の基礎概念を理解できる。 ②研究したいテーマに関する資料の収集及び分析ができる。 ③研究成果をレポート・論文として作成することができる。 ④研究成果を口頭で発表することができる。 ⑤研究内容に関するディスカッションを通して、コミュニケーションや創造的に思考することができる。	○		◎				○	○		
	総合生活演習 （担当：堀 桂太郎）	①ビジネス用ソフトウェアの基本操作ができる。 ②ビジネス用ソフトウェアを活用した作業ができる。 ③制御対象の構成を理解して、制御の方法が理解できる。 ④プログラミング言語を用いて、制御対象のコンピュータ制御ができる。		○				○				
	総合生活演習 （担当：古田 貴美子）	①フォーマルなドレスの型紙を作成することができる。 ②デザインに合った布地・糸・付属品を選択することができる。 ③丁寧に縫製し、美しく仕上げることができる。 ④装飾の工夫をすることができる。	◎	◎				○		○		

2025年度入学生 総合生活学科カリキュラムマップ

分類		授業科目名	授業科目の到達目標	総合生活学科の学修成果 (◎＝達成のために、特に重要な事項　○＝達成のために、重要な事項)									
				1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	3-4
				生活全般に関わる学科基礎科目について、基礎的な知識や技能を有している。	選択科目群の総合的で学際的な学びを通して、創造的に思考する技能を有している。	客観的な情報の収集力、分析力、論理的な思考力、的確な判断力及び文章作成能力を有している。	現代社会の課題発見能力と課題解決能力及実践力を有している。	社会に貢献できる豊かな表現力やコミュニケーション力を有している。	持続可能な社会のために、未来を切り開く創造力を有している。	実現可能なキャリアプランに向かって資格取得に資する力を有している。	主体的に学修を深める力を有している。	多様なものの見方や考え方を尊重する姿勢を有している。	人々と協働・協調して学修を進める力を有している。
学 科 基 礎 科 目	必修科目	総合生活演習 (担当:細見 和子)	①実習の手順が理解できるようになる。 ②情報収集の方法を習得できるようになる。 ③実習の計画に基づいて実践できるようになる。 ④研究成果を口頭で発表することができるようになる。 ⑤ディスカッションを通して、コミュニケーション能力を身に付けることができるようになる。	◎		○		○				◎	◎
		総合生活演習 (担当:本保 弘子)	住宅設計を立体的に検討する手段として、また他者に住宅設計を説明する手段として有効に使える住宅模型を制作できるようになる。	○	◎	○		○		○			
		総合生活演習 (担当:西 奈保)	①資料検索の方法を習得し、自ら情報収集ができるようになる。 ②実習を計画的に実践できるようになる。 ③レシピの作成方法を習得し、レシピ作成ができるようになる。 ④研究(実習)の成果をまとめ、研究発表をすることができるようになる。	○		◎					○		○
		総合生活演習 (担当:教員未定)	①「サービス接客検定」2級及び準1級を取得することができる。 ② 依頼状を作成して、取材先へアポイントメントを取ることができる。 ③ 目的にそった取材ができる。 ④ 取材活動をまとめたりレポートを完成させることができる。					◎		○			○
	選択科目	被服学	①被服に関する知識を身に付け、生活に役立てることができる。 ②状況に応じて美しく快適な服装ができる。	◎			○		○			○	
		食品学	①食品と健康の関係を基本に、食品を構成する成分や特性について理解できるようになる。 ②食品に関する多くの情報から正しい選択ができる能力を身に付けることができるようになる。	◎			○		○	○			
		住居学	様々な住居・住環境の課題に対して、自分自身で考える力を身に付けることができる。	◎		○	◎						
		情報社会論	① 人類が社会を発展させてきた経緯を理解できる ② 情報を整理して、問題解決を行う方法を理解できる ③ 情報社会におけるモラルとセキュリティの基礎が理解できる ④ 情報社会に潜む様々なリスクを理解し、それらを回避する行動ができる ⑤ メディアとコミュニケーションを適切に活用できる		◎		◎				○		
		生活経営	①生活を巡る諸問題について客観的に理解し、自分の生活と関連づけて考えることができる。 ②経済循環の中の家計の役割を理解し、適切な家計運営の方法を知り実行できる。 ③消費者問題の現状と発生要因を理解し、適切な対応をすることができる。 ④女性の生き方の現状と変化を知り、自分のライフプランを考えることができる。	◎		○	○		◎				
		健康管理概論	健康管理の意義と方法に関する基礎知識を習得することができる。	◎			◎						
		消費生活論	①消費者問題が発生する背景や実態を理解することができる。 ②自立した消費者になるために必要な知識を習得し、情報の収集と選択ができる。 ③消費者として様々な問題についての的確に考え、周囲や次世代のことも考えた行動がとれる。	◎			○						

2025年度入学生 総合生活学科カリキュラムマップ

分類		授業科目名	授業科目の到達目標	総合生活学科の学修成果 (◎＝達成のために、特に重要な事項　○＝達成のために、重要な事項)									
				1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	3-4
				生活全般に関わる学科基礎科目について、基礎的な知識や技能を有している。	選択科目群の総合的で学際的な学びを通して、創造的に思考する技能を有している。	客観的な情報の収集力、分析力、論理的な思考力、的確な判断力及び文章作成能力を有している。	現代社会の課題発見と課題解決能力及実践力を有している。	社会に貢献できる豊かな表現力やコミュニケーション力を有している。	持続可能な社会のために、未来を切り開く創造力を有している。	実現可能なキャリアプランに向かって資格取得に資する力を有している。	主体的に学修を深める力を有している。	多様なものの見方や考え方を尊重する姿勢を有している。	人々と協働・協調して学修を進める力を有している。
学科基礎科目	選択科目	家族関係	①家族概念の成立過程や歴史、文化、社会との関わりの中での家族の変容を知り、家族を広い視野で相対的に捉えることができる。 ②家族を関係学的視点で見ることにより、家族に生じる問題を客観的に考えることができる。 ③既成の家族観ではなく、自分の家族観をもつことができる。	○	○	○	◎		◎				
		被服構成基礎実習	①スカートやブラウスの構成を理解し、型紙作成ができる。 ②基本的な洋裁道具を使うことができる。 ③速く正確にミシン縫いができる。	◎	○						○		
		調理基礎実習	①基本的な食品の扱い方、調理技術を習得することができる。 ②日本料理、西洋料理、中国料理をとり入れた食事づくりができるようになる。 ③日本料理、西洋料理、中国料理の配膳の仕方について理解できる。 ④衛生・安全に配慮して食事づくりができるようになる。	◎						○	○		○
		住居デザイン基礎実習	① 基礎的な図面表現の技術が修得できる。 ② 設計に必要な室内照度環境とバリアフリーデザインの基礎知識が修得できる。	◎	○					○			
		情報基礎演習	①エクセルによる実践的な表計算処理ができる。 ②エクセルによる実践的なグラフ作成ができる。 ③エクセルによる実践的なデータベース処理ができる。 ④パワーポイントを用いたプレゼンテーションデータの作成ができる。	○	◎	◎				○			
選択科目	服飾デザイン	色彩学	①色彩検定3級程度の基礎的知識を身に付けることができる。 ②配色について学び、実践的に取り組むことができる。 ③色彩の多様な世界に触れ、日常生活の中に生かしていくことができるようになる。	◎				○					
		洋裁基礎演習	①デザインに合った布地・糸・付属品を選択することができる。 ②縫製技術を理解し、道具を正しく使用することができる。 ③ワンピースを美しく仕上げることができる。	◎	○						○		
		被服材料学	①繊維の種類と特徴、糸や布の構造と性質を理解することができる。 ②被服に要求される性能を考えて、目的に合った被服材料を選択することができる。 ③アパレル商品の選択に関して、素材と縫製の知識を役立てることができる。 ④アパレル生産における課題を考えることができる。	◎			◎		○			○	
		繊維学実験法	①織物、糸、繊維の実験法を理解することができる。 ②試料作りの大切さを理解することができる。 ③実験結果を図表にまとめ、考察することができる。 ④実験レポートを作成することができる。	○	◎	○							○
		被服構成実習(和裁)	①平面構成の衣服である着物の特徴を理解することができる。 ②ゆかたの部位に適した縫い方を理解することができる。 ③手縫いでゆかたを縫うことができる。	◎	○						○		
		染色学	①繊維によって用いられる染料が異なることを理解することができる。 ②自然の草木が染料になることを理解することができる。 ③身近な素材を使って染色することができる。		◎				○		○		○

2025年度入学生 総合生活学科カリキュラムマップ

分類		授業科目名	授業科目の到達目標	総合生活学科の学修成果 (◎＝達成のために、特に重要な事項　○＝達成のために、重要な事項)									
				1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	3-4
				生活全般に関わる学科基礎科目について、基礎的な知識や技能を有している。	選択科目群の総合的で学際的な学びを通して、創造的に思考する技能を有している。	客観的な情報の収集力、分析力、論理的な思考力、的確な判断力及び文章作成能力を有している。	現代社会の課題発見と課題解決能力及実践力を有している。	社会に貢献できる豊かな表現力やコミュニケーション力を有している。	持続可能な社会のために、未来を切り開く創造力を有している。	実現可能なキャリアプランに向かって資格取得に資する力を有している。	主体的に学修を深める力を有している。	多様なものの見方や考え方を尊重する姿勢を有している。	人々と協働・協調して学修を進める力を有している。
選択科目	服飾デザイン	ファッションデザイン論	①服飾の変遷を学ぶことで、その時代性と衣服の関係を理解し、デザインの基本論理から衣服におけるデザインと機能について理解を深める事ができる。 ②学んだ知識をもとに、実生活において活用することができるようになる。				○			◎	○		
		ファッションビジネス論	①ファッションビジネス基礎知識とマーチャンダイジング戦略の認識を習得することができる。 ②チームで企画を作り上げることにより、コミュニケーション力を高めることができる。					○		◎	○		
	フードデザイン	製パン・製菓実習	①製パン・製菓の理論が理解できるようになる。 ②さまざまな手法を習得することができるようになる。	◎						○	○	○	○
		調理学実習	①食品の季節や調理特性について理解できるようになる。 ②ライフステージごとに必要な食事のポイントをふまえた食事づくりができるようになる。 ③諸外国の料理や行事食の調理を通して、各国の料理や食文化について習得できる。		◎						○	○	○
		栄養学	①栄養と健康に関する正しい知識が習得できるようになる。 ②健康な食生活が実践できるようになる。		◎		○			○	○		
		調理学	①調理操作や食品の特性を理解し、理論に基づいた調理ができるようになる。 ②健康を考えたおいしい食事作りが実践できる。	◎						○	○		
		食品加工学	①食品加工技術の進歩に伴う食品の特性や機能が理解できるようになる。 ②加工食品の正しい選択や利用方法を習得することができる。 ③健康で安全な食生活が実践できるようになる。		◎		○			○	○		
		食品学演習	①食品の正しい知識と扱い方を習得することができる。 ②食品の基本的な品質評価や鑑別方法について理解できるようになる。		◎	○						○	○
		食品加工学実習	①食品の加工方法を身に付けることができる。 ②食品加工の原理を理解し、豊かな食生活を実践できる応用力が身につくようになる。	◎						○	○	○	○
		食品衛生学	①「食の安全」がいかに重要かということについての具体例を2つ以上説明できるようになる。 ②学んだ知識を日常に活かすことができるようになる。 ③消費者の立場で適切な食品衛生管理方法を理解できるようになる。		○					◎			
		食生活論	食生活を楽しむための知識を身に付けることができる。		○					◎	○		
		フードコーディネーターの基礎	フードコーディネーターに必要な教養と知識が習得できる。		○					◎	○		
		フードコーディネーター実習	①基本的なテーブルセッティングの約束ごと、コーディネートアイテムとカラーコーディネート知識、テーブルマナーの知識について習得できる。 ②テーマに沿ったレシピを立案し、コーディネートアイテムと組合せて食空間の演出ができるようになる。 ③食に関する企画やテーブルコーディネートを立案し、実践することができるようになる。		○			○		◎	○	○	○

2025年度入学生 総合生活学科カリキュラムマップ

分類	授業科目名	授業科目の到達目標	総合生活学科の学修成果 (◎＝達成のために、特に重要な事項　○＝達成のために、重要な事項)									
			1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	3-4
			生活全般に関わる学科基礎科目について、基礎的な知識や技能を有している。	選択科目群の総合的で学際的な学びを通して、創造的に思考する技能を有している。	客観的な情報の収集力、分析力、論理的な思考力、的確な判断力及び文章作成能力を有している。	現代社会の課題発見能力と課題解決能力及実践力を有している。	社会に貢献できる豊かな表現力やコミュニケーション力を有している。	持続可能な社会のために、未来を切り開く創造力を有している。	実現可能なキャリアプランに向かって資格取得に資する力を有している。	主体的に学修を深める力を有している。	多様なものの見方や考え方を尊重する姿勢を有している。	人々と協働・協調して学修を進める力を有している。
選択科目	住まいの法規	住まいに関する法律が、わたしたちの身近な住環境や社会環境に、いかに関わっているかを理解することができます。		○		○		○	◎			
	住まいの施工	住まいに関する施工をとおして、建物をつくるとはどういう事かを「人」「もの」「経済」「環境」といった視点で理解できるようになります。		○					◎			
	住まいの構法	在来構法 木造一戸建住宅の主要な骨組を理解できるようになる。	○	○					◎			
	インテリアコーディネート概論	①インテリアコーディネートの基礎を体系的に理解できるようになる。 ② 住まいのインテリアコーディネートに役立つ知識を得ることができる。	◎	◎	○		○		○			
	インテリア設計製図	インテリア設計製図の基礎的な技法が修得できる。	○	◎		○			◎			
	建築CAD演習	①2D CADソフトの基本的な操作を理解し、作図ができる。 ②2D CADソフトを用いて、平面図、立面図、断面図、屋根伏図などの建築図面の作図ができる。 ③3D CADソフトの基本的な操作を理解し、作図ができる。 ④コンセプトを作成し、2D・3DCADソフトを用いて、コンセプトを具現化し、図面化ができる。 ⑤自分の作品をプレゼンテーションできる。		◎		○			◎			
	インテリアデザイン論	インテリアデザインの基礎的事項を体系的に理解できるようになる。	○	◎	○		○		◎			
	住居計画学	住宅の可能性について主体的に考えることができるようになる。		◎		○			◎			
	住宅デザイン実習Ⅰ	木造住宅と鉄筋コンクリート住宅の設計製図の基礎的技法が修得できる。	○	◎		○		○	◎			
	住宅デザイン実習Ⅱ	木造住宅、鉄筋コンクリート住宅の設計を理解し、平面図、配置図、断面図、立面図をかけるようになる。	○	◎		○		○	◎			
	住まいの構造	①建物を支える構造に関する各種の基本的知識を習得し、活用することができるようになる。 ②住まいの構造を考える上で必要となる構造力学の基本的知識を習得し、活用することができるようになる。		○					◎			
	住まいの材料	自分の身の回りを含めて、今まで何気なく見ていた材料にそこに使われている必然性があることを知り、インテリアの知識を深めるとともに、その場所に応じた適切なインテリア材料の選択方法が理解できるようになる。		○				○	◎			
	宅地建物と法	宅地建物に関連する法令の基礎事項を理解できるようになる。	○			○			◎			

2025年度入学生 総合生活学科カリキュラムマップ

分類	授業科目名	授業科目の到達目標	総合生活学科の学修成果 (◎＝達成のために、特に重要な事項　○＝達成のために、重要な事項)									
			1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	3-4
			生活全般に関わる学科基礎科目について、基礎的な知識や技能を有している。	選択科目群の総合的で学際的な学びを通して、創造的に思考する技能を有している。	客観的な情報の収集力、分析力、論理的な思考力、的確な判断力及び文章作成能力を有している。	現代社会の課題発見と課題解決能力及び実践力を有している。	社会に貢献できる豊かな表現力やコミュニケーション力を有している。	持続可能な社会のために、未来を切り開く創造力を有している。	実現可能なキャリアプランに向かって資格取得に資する力を有している。	主体的に学修を深める力を有している。	多様なものの見方や考え方を尊重する姿勢を有している。	人々と協働・協調して学修を進める力を有している。
選択科目	情報科学	① コンピュータにおけるデータの表現が理解できる。 ② コンピュータの構成と基本動作を説明できる。 ③ プログラミング言語を用いた基本的なプログラムを作成できる。 ④ 確率や統計の基礎知識を用いてデータを分析する考え方を理解できる。		◎	○							
	コンピュータ応用	①ウェブページの基本を理解することができる。 ②JavaScriptの基礎を理解することができる。 ③簡単なウェブページを制作することができる。 ④ウェブページを用いて効果的な情報発信ができる。	○	◎	○	○	○					
	秘書ビジネス論	①新人として働くための心構えと基本的姿勢を身に付けることができる。 ②組織の一員として働く意義を理解できる。 ③文書実務等の基本業務に関する知識を深めることができる。 ④組織コミュニケーションの意味を理解できる。 ⑤ビジネス活動に関する知識を深めることができる。	○						◎	○		
	秘書実務Ⅰ	①組織で働く時の基本的な姿勢を身に付けることができる。 ②オフィスワークの基本業務を身に付けることができる。 ③職場でのコミュニケーション能力の基本を身に付けることができる。	○						◎			
	秘書実務Ⅱ	①直前の「秘書実務Ⅰ」で学んだ内容をすぐに実行できる。 ②職場でのコミュニケーション力を身に付けることができる。 ③基本的な社内・社外文書をパソコンで作成できる。 ④ビジネスの慶弔業務、出張業務を身に付けることができる。 ⑤来客の応対、電話の応対を身に付けることができる。 ⑥社会人としてのマナーを身に付けることができる。	○				○		◎			
	社会調査論	社会調査の意義、手法、サンプリング、データの読み込み方を理解のうえ、まとめのプレゼンテーションができるようになる。			○	◎						
	マーケティング論	①マーケティングの定義及び役割が理解できるようになる。 ②マーケット・セグメンテーションに関する知識が理解できるようになる。 ③ターゲティング及びポジショニングに関する知識が理解できるようになる。 ④製品戦略並びに価格戦略に関する知識が理解できるようになる。 ⑤流通戦略並びに販売促進戦略に関する知識が理解できるようになる。			○	○						
	経営会計実務処理	到達目標は日商簿記初級レベルの基礎知識を理解できるようになることです。具体的な目標は以下の通りです。 ①企業の経済活動を理解できるようになること。 ②企業の経済活動を、簿記のルールにしたがって、帳簿記入できるようになること。	○			◎			○			
	医療事務概論	①医療秘書技能とセンスで患者応対ができるようになる。 ②医療保険制度のしくみや、保険証の見方がわかるようになる。 ③簡単な治療代の算定と保険請求事務ができるようになる。	○						◎			

2025年度入学生 総合生活学科カリキュラムマップ

分類	授業科目名	授業科目の到達目標	総合生活学科の学修成果 (◎＝達成のために、特に重要な事項　○＝達成のために、重要な事項)									
			1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	3-4
			生活全般に関わる学科基礎科目について、基礎的な知識や技能を有している。	選択科目群の総合的で学際的な学びを通して、創造的に思考する技能を有している。	客観的な情報の収集力、分析力、論理的な思考力、的確な判断力及び文章作成能力を有している。	現代社会の課題発見と課題解決能力及び実践力を有している。	社会に貢献できる豊かな表現力やコミュニケーション力を有している。	持続可能な社会のために、未来を切り開く創造力を有している。	実現可能なキャリアプランに向かって資格取得に資する力を有している。	主体的に学修を深める力を有している。	多様なものの見方や考え方を尊重する姿勢を有している。	人々と協働・協調して学修を進める力を有している。
選択科目	プレゼンテーション概論	①プレゼンテーションを学ぶ意義が理解できる。 ②対人コミュニケーションの仕組みや形態に関する知識を深めることができる。 ③プレゼンテーションのための要素を知り、自己分析により自らの弱点を見出すことができる。 ④課題によるプレゼンテーションの構成ができる。 ⑤表現、話し方、非言語表現についての知識を深めることができる。 ⑥発表時のツールやスライドに関する知識を深めることができる。 ⑦与えられた課題について、人前でプレゼンテーションできる。	○				◎					
	プレゼンテーション演習Ⅰ	①プレゼンテーションツールの種類と特徴を理解し、目的にあったツールを選択することができる。 ②プレゼンテーションに必要な情報収集と時間管理ができる。 ③ノン・バーバルコミュニケーション技法を理解し、活用しながら話すことができる。 ④身近なテーマで簡単なプレゼンテーションができるようになる。					◎		○			
	プレゼンテーション演習Ⅱ	①グループディスカッションができるようになる。 ②パワーポイントを使つての資料作成、操作ができるようになる。 ③自信をもってプレゼンテーションを行い、共感を得ることができるようになる。 ④学んだことを就職活動や実社会で活用することができる。				○	◎		○			
	プロジェクト演習	①自ら課題を発見して目標を設定することができる。。 ②課題解決に向けてチームで活動することができる。 ③解決した内容をプレゼンテーションすることができる。				◎				○		○
	ビジネスコミュニケーション	①TPOに合わせたコミュニケーションが取れるようになる。 ②意見交換や会議での意見集約ができるようになる。 ③傾聴と自己主張のバランスが取れるようになる。 ④効果的な資料作成ができるようになる。 ⑤企画・提案のプレゼンテーションができるようになる。					◎				○	○
	日本語表現	①誠意をもって話を聞き、話を展開させることができる。 ②基本的な国語能力として文章の構成や慣用句故事成語が理解できる。 ③大学生活や社会に対応できる正しい敬語表現ができる。 ④文章による伝達やレポート・小論文の作成ができる。	○		○		◎					
	ビジネス英語コミュニケーションⅠ	①ビジネスに必要な基礎的な語彙や表現を英語で使うことができるようになる。 ②様々なビジネスの状況に応じた基礎的な英語でのコミュニケーションができるようになる。 ③ビジネスに必要な文書を英語で作成できるようになる。	○				◎					
	ビジネス英語コミュニケーションⅡ	①ビジネスに必要な語彙や表現を英語で使うことができるようになる。 ②様々なビジネスの状況に対応するための英語のコミュニケーションができるようになる。 ③ビジネスに必要な文書を英語で作成できるようになる。	○				◎					
	実践資格英語Ⅰ	①Listening能力を向上させるために、英語表現を聞いて意味がわかるようになる。 ②Readingの能力を伸ばすために、英文を多読し意味が即時にわかるようになる。 ③英語の語彙を増やし、場面に合った文法が使えるようになる。	○				◎		○			
	実践資格英語Ⅱ	①Listening能力を向上させるために、英語表現を聞いて意味がわかるようになる。 ②Readingの能力を伸ばすために、英文を多読し意味が即時にわかるようになる。	○				◎		○			

2025年度入学生 総合生活学科カリキュラムマップ

分類			総合生活学科の学修成果 (◎＝達成のために、特に重要な事項　○＝達成のために、重要な事項)									
			1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	3-4
			生活全般に関わる学科基礎科目について、基礎的な知識や技能を有している。	選択科目群の総合的で学際的な学びを通して、創造的に思考する技能を有している。	客観的な情報の収集力、分析力、論理的な思考力、的確な判断力及び文章作成能力を有している。	現代社会の課題発見と課題解決能力及実践力を有している。	社会に貢献できる豊かな表現力やコミュニケーション力を有している。	持続可能な社会のために、未来を切り開く創造力を有している。	実現可能なキャリアプランに向かって資格取得に資する力を有している。	主体的に学修を深める力を有している。	多様なものの見方や考え方を尊重する姿勢を有している。	人々と協働・協調して学修を進める力を有している。
選 択 科 目	心 理	ビューティ心理学	①人間の美しさの深層心理を理解することで、個人と他者の美に対する違いがわかり個人の内面と相手の内面を正しく理解できるようになる。 ②個人と他者の価値観や五感の感じ方、美しさの心理の違いを理解することで自分自身をうまく伝え、上手にコミュニケーションがとれるようになる。 ③美に対する多様性心理を理解することができ自己肯定感をもつことができる。									
		犯罪心理学	○		○	○	◎			○		
		恋愛心理学	○			○	◎	○				
		音楽心理学演習		○	○		◎			○		
		カウンセリング論	○	○	○	○	◎					
	キ ャ リ ア デ ザ イ ン	ブライダル・プランナーⅠ	◎					○	○	○	○	
		ブライダル・プランナーⅡ	◎					○	○	○	○	
		ブライダルコーディネート論	◎				○		○	○		
		ブライダルコーディネート演習	◎				○		○	○		
		メイクアップ論							◎	○		
		メイクアップ演習							◎	○		
		ネイルアート演習							◎	○		